

## 校正証明書

依頼者 ○○○○○○○○  
品名 ○○○○○○○○  
型名 ○○○○○○○○  
器物番号 ○○○○○○○○  
管理番号 ○○○○○○○○  
製造者 ○○○○○○○○  
仕様又は能力 最大圧力 ○○○○ kPa / 最小圧力 ○ kPa  
圧力分解能 ○○ kPa

校正標準器  
品名 ○○○○○○○○  
型番/器物番号 ○○○○○○○○ / ○○○○○○○○  
校正証明書番号 ○○○○○○○○

校正方法 次頁のとおり  
校正結果 次頁のとおり  
校正室条件 温度  $20 \pm 3$  °C、大気圧  $1013 \pm 20$  hPa、相対湿度  $50 \pm 20$  %  
校正年月日 ○○○○年○○月○○日

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

発行日 ○○○○年○○月○○日

株式会社双葉測器製作所  
東京都荒川区東尾久8-21-14

校正結果

表示値 (kPa)	校正圧力値	
	昇圧 (kPa)	降圧 (kPa)
[ 0000 ]	[ 0000 ]	[ 0000 ]
0000	0000	0000
0000	0000	0000
0000	0000	0000
0000	0000	0000
0000	0000	0000

校正方法および備考

1. 校正は、校正用標準器と比較して行った。
2. 測定圧力は気体ゲージ圧力であり、校正品の圧力媒体は窒素である。
3. 測定圧力は正圧5点とし、昇圧・降圧の往復を行った。
4. 校正品は鉛直方向に設置した。
5. 校正圧力値は校正品の圧力導入口の高さにおける値である。
6. 校正圧力値は、校正品の周囲温度が 00 °C のときの値である。
7. 校正品は、測定前にゼロ点調整を行った。
8. [ ]内の値は、参考値である。

校正実施条件

温度 00 °C ~ 00 °C、相対湿度 00 % ~ 00 %、大気圧 0000 hPa ~ 0000 hPa

以上